

会 議 録

1 会議名

令和5年度上越市美術展覧会 第1回運営委員会

2 議題（公開・非公開の別）

(1)上越市美術展覧会内規の一部改正について（公開）

(2)第52回上越市美術展覧会について（公開）

ア 開催計画について

イ 展示レイアウトについて

ウ 応募要項について

エ 審査員の推薦と決定について

オ 作品鑑賞会の日程、講師について

(3)ポスターについて（公開）

(4)その他（公開）

3 開催日時

令和5年5月11日（木） 午前10時30分から11時50分まで

4 開催場所

高田城址公園オーレンプラザ 研修室・会議室

5 傍聴人の数

0人

6 出席した委員（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

委 員：洞谷 亜里佐（委員長）、堀川 紀夫（副委員長）、小林 充也、五十嵐 正、

松尾 大介、大藏 豊彦、押木 秀樹、山田 真一、藤野 正二、関 敏雄

顧 問：筑波 進

事務局：（社会教育課）福山課長、竹内副課長、池田係長、増田主任

7 発言の内容

1 開 会

2 運営委員長あいさつ

3 議 題

(1)上越市美術展覧会内規の一部改正について（公開）

（事務局）：（資料1ページに基づき説明）

（押木委員）：書道部門に関しては、日本画、洋画・版画部門に近いかたちで、文章表現をできるだけ揃えるように修正した。また、無鑑査出品の規定において、「額装とし、軸装は不可とする。」を追加する。

（小林委員）：日本画部門に関しては、「額装または枠張りとし、」という箇所を「額装とし、」に修正し、「軸装は不可とする。」を追加する。また、無鑑査出品の規定において、「額装とし、軸装は不可とする。」を追加する。

（押木委員）：1点確認だが、「額装の作品は、プラスチックまたはアクリル額装とする。」という表現は、プラスチックやアクリルが入らないものは、額装と言わず枠張りということになるか。この表現だと、額装の場合はプラスチックまたはアクリルを必ず入れなければならないと読み取れる。

（委員長）：額装の場合は、安全面の観点からガラス額装は全部門共通で不可である。一方で、プラスチックまたはアクリルのカバーは必須事項ではないことから、「ガラス額装は出品不可」という表現のみとすることでどうか。

（委員一同）：異議なし。

（委員長）：ほかに意見等はないか。

（委員一同）：特になし。

(2)第52回上越市美術展覧会について（公開）

（事務局）：前回の運営委員会後、松尾委員、洞谷委員長と相談させていただいた。結果として、例年ベースのスケジュール案で今回提案させていただくこととなった。

（松尾委員）：洞谷委員長、事務局と相談させていただいた結果、例年どおりの日程で開催していただくことをお願いしたい。それに伴い、彫刻・立体造形部門については、委員長に一任するという事で提案させていただく。

（委員長）：松尾委員からの提案について了承いただけるか。

（委員一同）：異議なし。

（委員長）：それでは、資料について事務局から説明いただく。

（事務局）：（資料2～12ページに基づき説明）

(事務局) : 先に承認された、議題(1)上越市美術展覧会内規の一部改正についてを踏まえ、資料8ページの「出品規定(各部門共通)」における「※額装の作品は、プラスチックまたはアクリル額装とします。(ガラス額装は使用不可)」の箇所を「※ガラス額装の作品は出品できません。」に修正する。

(委員長) : 事務局からの説明について意見等はないか。

(委員一同) : 異議なし。

(3)ポスターについて(公開)

(筑波顧問) : 長らく市展ポスターのデザイン制作を務めてきたが、この先何年できるかわからない。そのようなことも踏まえ、交代しても次の人ができるだけやりやすい形となるよう、市展のポスターのシンボルを決めてしまうのはどうかということをご提案させていただく。

「オウムガイ」、「『市展』の文字」、「上越市市章」の3つをセットにし、シンボルにしてはどうかということである。

これらの組合せで、大きさや配置を変えたりしていけば、今後も続けていけるのではないか。

(委員長) : 筑波顧問からの提案について意見等はないか。

(委員一同) : 異議なし。

(4)その他(公開)

(事務局) : 複写式の出品票は、これまで黄色、ピンク色、青色の3色で回している。今回は黄色で作成する。

-----特になし-----

4 開 会

8 問合せ先

教育委員会 社会教育課 生涯学習係 TEL : 025-545-9245

E-mail : shakaikyoku@city.joetsu.lg.jp

9 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。